

3月27日 紀州富士 「龍門山」

木田 修司

山名	龍門山 (和歌山県)	山行名	例会
ルート	京田辺→田辺西 IC→紀ノ川東 IC→龍門山駐車場→登山口→塵無池→田代峠 →磁石岩→龍門山→蛇紋岩→明神岩・風穴(昼食)→登山口→龍門山駐車場 →めっけもん広場(買物)→貴志駅(たま駅長)→和歌山北 IC→枚方東 IC→京田辺		
山行日	2022年3月27日(日)	天候	快晴
参加者	リーダー：木田 サブリーダー：田中 参加者：玉井、上田、高橋、大林、幾田、秋山、佐々木、河野、玉置 女性8名 男性3名 参加者計 11名		

ルート概略図 	コースタイム				
	地名	時:分	地名	時:分	
京田辺	発	6:30	明神岩 昼食	着 発	11:55 12:43
龍門山P	着 発	7:35 7:50	登山口	着 発	13:31 13:35
登山口	着 発	9:24 9:32	龍門山P	着	14:13
田代峠	着 発	10:38 10:54			
龍門山	着 発	11:20 11:28	京田辺	着	18:00

2021年度年間計画では紀泉アルプスの予定でしたが、桜・桃の満開を期待して紀州富士・龍門山に行先変更しました。

駐車場からは、満開の桜並木の中を歩き、みかん畑、柿畑、梅林を抜けると眼下に紀ノ川流域が広がる絶景。登山口からは急な登りが続く。途中、下見では見ることのできなかつた塵無池(ちりなしけ)に辿り着く。人気の全くない静寂の中で、澄んだ水に反射する木々が美しい池でした。

田代峠まで厳しい登りが続くが、磁石岩から龍門山山頂まで比較的緩いアップダウン。磁石岩、龍門山山頂、邪紋岩、明神岩からの眺めはどれも美しく静かな青空に無数のパラグライダーやハングライダーが泳いでいる。

昼食は明神岩の上で。昼食中自己ビレイ無く落ち着かないが、他のメンバーは以外と平気なのに驚く。少し時間があつたので、カレーとチーズリゾットを堪能する者、風穴、岩壁を堪能する者など、それぞれが昼休みを楽しんだ。

昼食後は一気に下山。果樹園、桜並木を経て駐車場に到着した。

めっけもん広場では、みかんやいちごなど旬のフルーツや、南高梅や野菜など産地特産品を大量に買い込んだり、その場でいただいたり。桃源郷はまだつぼみだったものの、桃畑を抜けると最終目的地たま駅長の待つ貴志駅へ。

帰路は和歌山経由で明るいうちに京田辺へ到着。あれもこれも詰め込んだ計画でしたが、すべて無事にこなせてほっとしました。

ヒヤリハット： なし

## 感想文

高橋有紀

久しぶりに例会に参加させてもらいました。駐車場から登山口まで始めは肌寒かったけど、桜や梅の花も咲いていて、みかん畑の農道を進み、上り坂の勾配がキツくなってすぐに汗ばむようになりまし。途中数百メートルに渡り大量のブラックコーヒーの缶が吊るされていてビックリ!!田代コースでちりなし池へ所々日差しが漏れて気持ち良かったです。Oさんの手作りのりんご入りクレープもとても美味しかったです。磁石岩から山頂へ、眺望が開けて麓の景色から大阪湾、淡路島、明石海峡大橋まで見渡すことができ、いい天気になって本当に良かった!と大満足でした。明神岩へ下り、高さ30メートルほどの岩に登りお昼ご飯。眼下には紀の川の蛇行している様子が一望できました。岩の裏へ周るとクライミングができるようになっていて下を見るとあ〜恐ろし。スリリングでした。帰りにはめっけもん広場で和歌山県特産の買い物もでき、貴志駅に寄り駅長のたまちゃん(猫ちゃん)に癒されました。とても楽しい山行でした。遠いところまで運転して下さったKさん、Tさん、ご一緒して下さいました皆様ありがとうございました。

## 感想文

秋山正子

前日からの雨で山行も危ぶまれていたのですが、なんとか紀州富士といわれる龍門山に登ってきました。登山口までのアスファルトの道の長さや季節外れの暑さに辟易しながら周りに目をやると急斜面の果樹園の中、桃の花があちこちに咲いて癒されました。やっと登山口から山登りですが、前日までの雨で足元がズルズルすべって大変でした。ところどころに展望の良いところがありましたが頂上を超えた先の明神岩は背中がこぼれゆくような絶景でした。大きな切り立った岩の上でお弁当を広げ、暑いくらいのひざしで日焼けが気になります。そこでも少し年の過ぎたギャルたちのにぎやかなおしゃべりがとても楽しかったです。帰り道は来た時以上に足元が滑り、つかれましたが、わずかな間に桜が満開になっていました。気が付かなかった!!帰り道もアスファルト舗装の道が続いたのですが川沿いの土手の満開の桜は本当に見事でした。和歌山はやはり暖かいのでしょうか。

そのあと、めっけもん広場で楽しいお買い物、そして最後に和歌山電鉄貴志川駅のにゃんこ駅長に会えて写真撮影もできました。いろいろなプランを考えていただいて楽しい山行でした。

## 感想文

幾田邦江

“和歌山”と聞いただけで、私は、ワクワクした。最近ではコロナ渦で、遠くまで外出することができなかった為である。ドライブ、登山、お買い物、観光と、盛り沢山で、胸弾ませた。登山口までの急登の横には果樹園が沢山あり、その傾斜での農作業は、体幹が必要だと感じた。又、山頂や明神岩でのパノラマ展望は絶景であり、鳥のように空を舞うハングラライダーや海へと続く紀ノ川を、ずうっと眺めていたいと思った。連れてきて頂いて本当に良かったと思えた。めっけもん広場での買い物は、大好きな柑橘類を4種類と、美味しいもの色々と、念願の高野槇の苗木を購入できて良かった。CL、SL、おやつを用意して下さった方々、皆様、ありがとうございました。

## 感想文

佐々木康治

### 花見気分の山登り、山頂から紀の川、和泉山脈を遠望

2019年5月、2020年12月に次いで3回目の竜門山、季節、参加者、自分の脚力が変化しその都度趣が異なる。前日の大雨がウソのよう、好天に恵まれルンルン気分歩き始める。登山口までは果樹園が広がり、一斉に咲き始めた桜が京田辺のアルピニストを歓迎。田代峠での大林シェフのおもてなし、おいしいクレープでホッと一息。夏山登山の訓練だと13kgの荷物を背負う木田リーダーには畏敬の念。約3時間で広々とした山頂(756m)に到達、ここで絶景を愛でながらの昼食だろうと早とちり・・・みそ汁を味わいながら弁当を開いていると、サブの田中さんから「食事はもう少し先ですよ」との厳しいお言葉、空腹をこらえながら明神岩まで足を伸ばす。

## 喜寿を過ぎ三途の川わたりを遅らせようと懸命に抗（あらが）う

コロナ禍で海外旅行は儚い夢、ここ 2 年は国内再発見の旅に行き先をシフト、山友会の山行が生活のいいアクセント。昨年度のペース登山では 6 kg かついで 151 分、今年度は 5.2kg かついで 137 分、誉れも高き最ドン足、最近の目標は定期的に山行に参加し痙攣を起こさずに完歩すること。テニスコートで走りまわり甘南備山を徘徊し、喜寿を過ぎた体力の衰えに少しでも歯止めをかけようと涙ぐましい努力をしています。

念入りな準備体操



ひたすら急坂を・・・



塵無池(ちりなし池)



田代峠で、りんご入り手作りクレープを賞味



磁石岩から明石海峡大橋の遠望



龍門山頂



断崖絶壁の明神岩の上に立つ



満開の桜堤



たま駅長をかたどった貴志駅

